

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
中国語の読解力を身につけましょう。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
中国語第一
中国語第二

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

選択中国語第一

選択中国語第二

中国語演習

### 【教科書等】

中国語デイリーライフ読解と会話 范建明 / 沈麗華 / 張仕英 著  
(生協でお買い下さい)

### 【授業内容とその進め方】

1年次で学んだ中国語の発音や基礎会話と基礎文法を復習しながら、口や耳、手をフルに活用して、発音をよりきれいにできるようにし、基礎文型を再確認しながら読解力を強化します。そのために、授業中はリスニングや文法文題の穴埋め、言葉の並べ替え、中文の和訳、和文の中訳といった練習を実践的にやります。また、中国語脳をつくるために、本文の熟読 記憶 思い出す 書き出すというトレーニングをやります。毎回必ず指定した内容を予習復習してから授業に臨んでください。また、期末テストはペーパーテストの代わりに習った中国語で文章を書き、先生の添削を経て、教室で発表してもらおうといった実践的形を取ります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

実用中国語技能検定準4級以上合格者に対して有利に考慮します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日午後2時半から4時半の間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

1年生の時中国語を選んで2年生になっても中国語を続けて勉強してくれて先生としては非常に嬉しく思います。3年生4年生になっても、「外国語とその運用(中国語)」という授業があるので、それと繋がって必ず中国語をものにしたいという強い気持ちで授業に参加してください。

中国語を学ぶのは中国語脳をつくることです。中国語脳作りのトレーニングとしては、本文の熟読 記憶 思い出す 書き出すという方法を進めています。非常に実効性のある方法と思います。中国語脳ができたときは中国語を自由に使える日です。その日に向かって一緒に頑張るではありませんか。

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！

辞書必ず用意してください。

